**第 3学年1組道徳学習指導案**

**1　主題名**　勇気を出して　〔内容項目1―（3）〕

**2　資料名**　「心ない言葉」

**3　本時の学習指導**

（1）ねらい

自分で正しいと思えることは、勇気をもって行動しようとする態度を育てる。

（2）展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習活動 | 主な発問と予想される児童の反応 | 教師の支援 | 時間 |
| １　これまで、勇気を出したのはどのような場面であったかふり返る。2　「心ない言葉」の範読をし、ぼくの気持ちを考える。(1)　場面①なかなか言い出せないぼく場面②お母さんとぼく(2)　(3)場面③やめてと言ったぼく　(4)　場面④話し合いのあと3　これからどのような場面で勇気を出すことができるか考え、ノートに書く。4　教師の説話を聞く。 | 〇みんなは今まで勇気を出したことはありますか。それはどんな時ですか。・運動会のダンスで、緊張していたが体を大きく使って踊ったとき。・音楽会で大きな声で歌ったとき。・答えがあっているか不安だったけど、授業で自分の意見を発表したとき。〇この話の登場人物は誰でしょうか。・ぼく・お母さん・先生・友だち〇あだ名で呼んでほしくないとなかなか言えなかったとき、ぼくはどんなことを考えていたでしょうか。・やめてほしいけど言うのがこわい。・言ったらもっといじわるされる。〇お母さんに「自分の気持ちをみんなに話してみたら」と言われたとき、ぼくはどんなことを考えたでしょうか。・お母さんは優しいな。・お母さんは子どもがつらいことが悲しい。・でも言えないな。・明日言ってみようかな。〇二日後、ぼくはどんな気持ちで「あだ名で呼ぶのはやめてほしい」と言ったのでしょうか。・お母さんに勇気をもらえた。・やめてほしいから思い切って言おう。・勇気を出そう。〇話合いの後、自分のことを誰もあだ名で呼ばなくなって、ぼくはどんなことを思ったでしょうか。・言ってよかった。・あだ名で呼ばれなくて嬉しい。・もっと早くに言えばよかった。・勇気を出してよかったけど、いつも勇気を出すことは難しいことだ。・難しいことだけど、これからは勇気を出して言おう。〇これからはどのようなときに勇気を出して行動したいですか。・ぞうきんがけをしない友達がいたら、注意をするようにしたい。・うがいをしない友達がいたら、風邪が流行ってしまうからうがいをしようと言うようにしたい。 | 〇これまでの経験をふり返り、本時のねらいとする価値への課題意識が持てるようにする。〇登場人物は、人間関係が分かりやすいように板書する。〇ぼくのつらい気持ちや悲しい気持ち、言えない気持ちに共感する。〇児童の言葉を用いて板書する。〇児童の言葉を用いて板書する。〇言いたい気持ちと言えない気持ちの葛藤に共感する。〇泣きながら話を聞いていたお母さんの気持ちに触れる。〇児童の言葉を用いて板書する。〇勇気を持って「やめて」と言ったぼくの強さにふれる。〇児童の言葉を用いて板書する。〇勇気とは、勇気をもって正しい行動をすることであり、常にそれをやり通すことである。それは難しいことだが、自分にとってもみんなにとっても良いことである。〇児童の考えを学級で共有する。〇自分たちの生活をふり返り、今後の行動に生かせるようにする。〇「遠足のおやつの規則を破ったことを正直に謝ったら、謝ったことは先生に褒められた。」 | 3’5’5’12’7’5’8’1’ |

**4　備考**　在籍生徒数　　35名

**5　板書計画**

|  |
| --- |
| 勇気を出して　「心ない言葉」◎あだ名で呼ばれても、やめてと言えないぼく・我慢しよう。・いやだけど、言いにくいな。◎お母さんと話したときのぼく・明日言ってみようかな。・言えないな、こわいな。→かっとう◎二日後、やめてと言ったぼく・お母さんに勇気をもらえた。・やめてほしいから思い切って言おう。・勇気を出そう。◎誰もあだ名で呼ばなくなった・言ってよかった。・もっと早くに言えばよかった。・勇気を出してよかったけど、いつも勇気を出すことは難しいな。・難しいことだけど、これからは勇気を出して言おう。　◯これからはどのようなときに勇気を出して行動したいか？ |